

冬季は消毒薬の効果が下がります

逆性石鹼は20～25℃での使用が望ましいとされています。

- ・ 消毒液の濃度を濃く作る
- ・ 消石灰を添加して使用する などの工夫が必要です。

逆性石鹼 + 消石灰*

低温・有機物の混入に強い組合せ

逆性石鹼（500倍希釈） + 消石灰（粉が溶け残る程度）

※消石灰はアルカリ性です。酸性消毒液には絶対に混ぜないでください。



消毒液が凍るときは

- ・ 粉末の消石灰を使用する※1
- ・ 塩素系消毒薬に塩カルを混ぜて使用する
- ・ 不凍液で消毒液を作る※2

◇注意◇ ※1 消石灰は乾いた粉の状態では、消毒に数時間かかります。資材が濡れている状態での消毒がより効果的です。

※2 畜産用不凍液が市販されています。

（ウインドウォッシャー液には、引火性・毒性があります）

長靴の消毒について

- ・ どの消毒薬でも、消毒には数分以上かかります。消毒が終わるまで踏込み槽に入って待つのは大変なので、畜舎に入る際には、**長靴を履き替える**ようにしましょう。
- ・ 有機物の混入によって、消毒の効果は弱まります。長靴の**汚れを落としてから消毒**しましょう。



全国で鳥インフルエンザの発生が相次いでいます。
消毒方法を見直して、冬季の感染症予防に努めましょう！

